



旭が丘小

みんなの笑顔が輝く学校 地域の風が行き交う学校

日野市立旭が丘小学校
学 校 だ よ り
令 和 7 年 11 月 28 日
校 長 半 田 大 樹
www.e-asahigaoka.hino-tky.ed.jp

人権週間にあたって

副校長 須藤 利伸

暑く長い夏、短すぎる秋から寒さ厳しい冬へと季節が巡り、カレンダーもあと1枚となりました。早いもので2025年の締めくくりの月「師走」を迎えます。街のイルミネーションに、クリスマスや年の瀬が近付いていることを感じます。

さて、12月4日（木）から12月10日（水）までの1週間は「第77回人権週間」となっています。毎年、各関係機関及び団体が協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行われています。

法務省のホームページには、人権週間について以下のように記載されています。

昭和23年（1948年）12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものです。採択日である12月10日は、「人権デー（Human Rights Day）」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、昭和24年（1949年）から毎年、各関係機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

いじめや虐待、性被害等のこどもの人権問題、外国人やアイヌの人々、性的マイノリティ等に対する不当な差別や偏見、部落差別（同和問題）、ハンセン病問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。

とりわけ、近年においては、インターネットを介した人権侵害が深刻化しているほか、旧優生保護法をめぐる問題を含めた障害のある人の人権問題が関心を集めるなど、人権教育及び人権啓発に関する施策が果たすべき役割はますます大きくなっています。

これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことでなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

人権とは、「世界中の誰もが、差別やいじめや仲間はずれのないように、安心して幸せに毎日を過ごすことができること」です。そのためには、世界中の人たちが、「自分を大切にすると同じように、同じ人間として他のすべての人たちも大切にしよう」ということです。

本校でも、子供たちが多様な他者を尊重し、安心して学校生活を送れるよう、教職員一同、人権感覚を磨き、指導を重ねています。11月は東京都教育委員会の取組としての「ふれあい（いじめ防止強化）月間」でもあったことから、「生活についてのアンケート」を実施したり、全校朝会で校長が松谷みよ子さんの「わたしのいもうと」を読み聞かせし、命の尊さや思いやりの心を育んだりしました。また、各学級でも年間通して3回以上の「いじめ」に関する授業を実施しております。教職員一同、いじめ防止、いじめの早期発見・早期対応・解決ができるよう、日々の取組を徹底してまいります。

子供たちが温かい心をもって成長していくためには、ご家庭での関わりが不可欠です。この機会にぜひ、「思いやりの気持ち」や「自分と違う人を尊重し合うことの大切さ」について、お子様とお話する機会をもっていただけると幸いです。

2学期も、それぞれの場面で子供たちの頑張りと成長を見ることができうれしき限りでした。年末にかけて気忙しい日が続きます。また、インフルエンザなどの流行もありますので、規則正しい生活をし、すてきな1年の締めくくりにしてほしいと思います。そして、新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年でありますよう心からお祈り申し上げます。



令和7年度 12月 行事予定

[illegible]

